

平成 19 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 2 日

上場会社名 横浜冷凍株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>
 代表表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 島居 寛 TEL (045) 326-1010

(百万円未満切捨て)

1. 平成 19 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)
 (1) 連結経営成績 (% 表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
19年9月期第3四半期	百万円 94,369 7.5	百万円 2,771 8.2	百万円 2,985 5.8	百万円 1,675 2.2
18年9月期第3四半期	87,823 23.3	3,018 8.1	3,170 7.0	1,713 1.4
18年9月期	115,947 -	3,506 -	3,671 -	2,002 -

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
19年9月期第3四半期	円 32 銭 94	円 32 銭 29
18年9月期第3四半期	34 74	33 00
18年9月期	40 52	38 57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
19年9月期第3四半期	百万円 77,453	百万円 55,576	% 71.3	円 銭 1,065 16
18年9月期第3四半期	68,263	52,737	77.3	1,064 37
18年9月期	71,962	53,356	74.0	1,066 33

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
19年9月期第3四半期	百万円 366	百万円 5,674	百万円 4,760	百万円 1,567
18年9月期第3四半期	3,020	5,207	75	2,024
18年9月期	6,090	6,453	951	2,822

2. 平成 19 年 9 月期の連結業績予想 (平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日) 【参考】

(% 表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 115,410 0.5	百万円 3,615 3.1	百万円 3,750 2.2	百万円 2,120 5.9	円 銭 40 87

3. その他

- | | |
|---|-----|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : 有 |

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 平成 19 年 9 月期 第 3 四半期の概況

当第 3 四半期における日本経済は、好調な企業収益を背景に設備投資は依然として高い水準を維持しており、雇用環境にも改善が見られるなど、景気は引き続き緩やかな上昇基調で推移いたしました。しかしながら一方では、原油・素材価格の高騰や年金問題等、将来に対する不透明感は払拭されておらず、個人消費は改善の兆しはあるものの力強さに欠けております。

食品関連業界におきましては、安全・安心に対する消費者の厳しい視線のなか、依然として畜産品の安全性への不安は解消しておりません。また水産品では、世界的な市場の拡大から価格が上昇している一方、国内の消費動向が低調なことから、事業環境は依然として難しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、平成 17 年 11 月に発表いたしました中期経営計画（3ヶ年）の事業方針に基づき、冷蔵倉庫、食品販売の両事業とも顧客の求める商品・サービスの提供や新たな需要の開拓など積極的な営業活動に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 94,369 百万円（前年同期比 7.5% 増）と増収になりました。利益面では、売上総利益は前年同期比で 99 百万円の増加となりましたが、販管費の増加により営業利益は 2,771 百万円（前年同期比 8.2% 減）、経常利益は 2,985 百万円（前年同期比 5.8% 減）となりました。過年度固定資産税還付金 150 百万円等、合計 160 百万円を特別利益に計上し、また関係会社に係る株式評価損 76 百万円、貸倒引当金繰入額 23 百万円及び子会社に係る持分変動損 39 百万円等、合計 184 百万円を特別損失に計上いたしました結果、第 3 四半期純利益は 1,675 百万円（前年同期比 2.2% 減）となりました。

(2) セグメント別の概況

冷蔵倉庫事業

当第 3 四半期末の国内冷蔵設備保管収容能力は、平成 18 年 10 月に稼働いたしました都城物流センター第 2 号倉庫（13,537 トン）の増設と平成 19 年 3 月に稼働いたしました横浜物流センター（23,384 トン）の新設により 647 千トンとなりました。

米国産牛肉の搬入回復の遅れや、顧客の在庫圧縮と物流経費削減の動きも依然として続くななど厳しい事業環境でしたが、新規顧客の開拓や冷蔵倉庫需要の掘り起こしなど、地域に密着した集荷活動に努めました。また、前期より取り組んでおります貨物構成の見直しについても引き続き実施いたしましたが、水産品を中心とした輸入貨物量の減少もあり国内入出庫取扱数量は、前年同期に比べて 3.4% 減少の 1,488 千トンとなり、保管在庫量も 5.9% 減少いたしました。一方、海外連結子会社でありますタイヨコレイ株式会社は、外部環境の改善や営業努力により業績は堅調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の売上高は料金単価の改善傾向は見られるものの 13,465 百万円（前年同期比 0.3% 減）となりました。新增設いたしました物流センターの開業初期費用の発生などもありましたため、営業利益は 2,977 百万円（前年同期比 3.1% 減）となりました。

食品販売事業

全般に販売環境の厳しい中、水産品では海老・サケ等主力商材の取り扱いが増加し、畜産品では米国産牛肉の輸入が本格化に至らない状況から、豚肉に対する代替需要が引き続き旺盛でありました。しかし、海老相場の低迷や世界的な水産品価格上昇の販売面への反映の難しさから、食品販売事業において当期の事業目標としております利益率の向上等取引内容の改善は、今後の課題として残された状況となりました。

以上の結果、食品販売事業の売上高は 80,876 百万円（前年同期比 8.9% 増）となり、営業利益は 889 百万円（前年同期比 5.1% 減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第 3 四半期末における資産総額は 77,453 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5,490 百万円の増加となりました。これは主にたな卸資産と有形固定資産の増加によるものであります。負債総額は 21,876 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,270 百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。また、純資産につきましては、55,576 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,219 百万円の増加となりました。これは主に転換社債の転換による資本金と資本剰余金の増加によるもの及び利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ 1,255 百万円減少の 1,567 百万円となりました。当第 3 四半期におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果支出した資金は 366 百万円であり、その主な内容は税金等調整前第 3 四半期純利益 2,961 百万円及び減価償却費 1,920 百万円などの資金増加と、売上債権の増加額 1,162 百万円、たな卸資産の増加額 1,943 百万円及び法人税等の支払額 1,739 百万円などの資金減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は 5,674 百万円であります。その主な内容は横浜物流センター建設をはじめとする有形固定資産の取得による支出 4,877 百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は 4,760 百万円となりました。これは短期借入金による収入 5,500 百万円などの資金増加と、配当金の支払額 890 百万円などの資金減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では、平成 19 年 5 月 17 日に公表いたしました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産の計上は、帳簿たな卸高によっております。

税金費用の計上は、年間の見積実効税率に基づいております。

その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な手続きによっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成 19 年度の法人税法改正に伴い、当連結会計年度より、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

要約連結財務諸表

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

期 別 科 目	前年同四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	2,035	1,712	△ 322	△ 15.8	2,850
受取手形及び売掛金	14,674	17,196	2,521	17.2	16,020
たな卸資産	6,218	7,797	1,578	25.4	5,851
繰延税金資産	353	377	24	6.8	377
その他	206	506	300	145.3	164
貸倒引当金	△ 76	△ 96	△ 19	-	△ 87
流動資産合計	23,412	27,494	4,082	17.4	25,175
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	17,748	20,014	2,266	12.8	17,464
機械装置及び運搬具	3,222	3,898	676	21.0	3,157
土地	15,768	15,919	150	1.0	15,768
建設仮勘定	931	2,341	1,409	151.3	3,044
その他	437	500	62	14.4	421
有形固定資産合計	38,108	42,673	4,565	12.0	39,857
無形固定資産	1,767	1,789	21	1.2	1,749
投資その他の資産					
投資有価証券	4,192	4,703	511	12.2	4,403
その他	958	939	△ 19	△ 2.1	901
貸倒引当金	△ 176	△ 148	28	-	△ 124
投資その他の資産合計	4,975	5,494	519	10.4	5,180
固定資産合計	44,851	49,958	5,106	11.4	46,787
資産合計	68,263	77,453	9,189	13.5	71,962

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

期 別 科 目	前年同四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年9月期
			金 額	金 額	
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	9,186	11,614	2,428	26.4	11,269
1年以内に償還予定の転換社債	1,478	-	△ 1,478	-	1,212
短期借入金	1,015	5,500	4,484	441.8	-
未払法人税等	684	515	△ 168	△ 24.6	1,013
未払費用	847	983	136	16.1	1,108
その他	684	1,774	1,089	159.1	2,402
流動負債合計	13,895	20,388	6,492	46.7	17,005
II 固定負債					
繰延税金負債	610	622	12	2.0	671
退職給付引当金	700	574	△ 125	△ 17.9	671
役員退職慰労引当金	185	232	47	25.6	200
その他	57	57	△0	△ 0.8	57
固定負債合計	1,554	1,488	△ 66	△ 4.3	1,600
負債合計	15,449	21,876	6,426	41.6	18,605
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	-	11,065	-	-	10,461
資本剰余金	-	11,109	-	-	10,505
利益剰余金	-	32,452	-	-	31,668
自己株式	-	△ 437	-	-	△ 408
株主資本合計	-	54,189	-	-	52,226
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	-	1,071	-	-	1,144
繰延ヘッジ損益	-	0	-	-	0
為替換算調整勘定	-	△ 15	-	-	△ 95
評価・換算差額等合計	-	1,056	-	-	1,049
III 少数株主持分	-	330	-	-	80
純資産合計	-	55,576	-	-	53,356
負債及び純資産合計	-	77,453	-	-	71,962

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	期 別 前年同四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年9月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 平成18年9月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	
(少数株主持分)						
少数株主持分		76	-	-	-	-
(資本の部)						
I 資本金		10,328	-	-	-	-
II 資本剰余金		10,372	-	-	-	-
III 利益剰余金		31,379	-	-	-	-
IV その他有価証券評価差額金		1,149	-	-	-	-
V 為替換算調整勘定		△ 95	-	-	-	-
VI 自己株式		△ 397	-	-	-	-
資本合計		52,737	-	-	-	-
負債、少数株主持分及び資本合計		68,263	-	-	-	-

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成18年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額	
I 売上高	87,823	94,369	6,545	7.5	115,947	
II 売上原価	81,157	87,603	6,446	7.9	107,536	
売上総利益	6,666	6,766	99	1.5	8,410	
III 販売費及び一般管理費	3,648	3,994	345	9.5	4,903	
営業利益	3,018	2,771	△ 246	△ 8.2	3,506	
IV 営業外収益	182	249	66	36.6	216	
V 営業外費用	29	35	5	19.0	50	
経常利益	3,170	2,985	△ 185	△ 5.8	3,671	
VI 特別利益	118	160	42	36.1	306	
VII 特別損失	233	184	△ 48	△ 20.7	262	
税金等調整前第3四半期 (当期) 純利益	3,055	2,961	△ 94	△ 3.1	3,716	
税金費用	1,328	1,261	△ 67	△ 5.1	1,696	
少数株主利益	13	24	11	83.3	17	
第3四半期 (当期) 純利益	1,713	1,675	△ 38	△ 2.2	2,002	

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成18年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	(参考) 平成18年9月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	3,055	2,961	3,716
減価償却費	1,796	1,920	2,421
退職給付引当金の減少額	△ 97	△ 96	△ 126
固定資産売却益	△ 113	△ 1	△ 115
固定資産除売却損	35	45	58
売上債権の増加額	△ 747	△ 1,162	△ 2,093
たな卸資産の増加額	△ 543	△ 1,943	△ 190
仕入債務の増加額	971	341	3,073
未払費用の増減額 (減少 : △)	△ 210	△ 125	50
その他	412	△ 606	768
小計	4,559	1,333	7,563
法人税等の支払額	△ 1,585	△ 1,739	△ 1,522
その他	46	39	50
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,020	△ 366	6,090
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 4,862	△ 4,877	△ 5,824
有形固定資産の売却による収入	223	14	227
その他	△ 568	△ 811	△ 856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,207	△ 5,674	△ 6,453
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金による収入	1,000	5,500	—
配当金の支払額	△ 812	△ 890	△ 811
少数株主への配当金の支払額	△ 33	△ 2	△ 33
その他	△ 79	153	△ 107
財務活動によるキャッシュ・フロー	75	4,760	△ 951
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	11	25	11
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 2,101	△ 1,255	△ 1,302
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,125	2,822	4,125
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	2,024	1,567	2,822

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当四半期(自平成18年10月1日 至平成19年6月30日)

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,465	80,876	27	94,369	—	94,369
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	683	—	—	683	(683)	—
計	14,149	80,876	27	95,053	(683)	94,369
営業費用	11,171	79,986	5	91,164	433	91,597
営業利益	2,977	889	21	3,888	(1,117)	2,771

(参考) 前年同四半期 (自平成17年10月1日 至平成18年6月30日)

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業利益	3,073	937	21	4,033	(1,015)	3,018